

令和6年度 政務活動費執行状況

本市議会の議員は1人につき月額12,500円の政務活動費の交付を受けることができます。(会派に属する議員は会派に、会派に属さない議員は議員個人に交付)

政務活動費は、市政に関する調査研究等に資するため必要な経費として使用するもので、使途基準が定められています。

なお、交付額より執行額が上回る会派等については、自己資金にて対応しています。

会派等交付先	人数(人)	執行額(円)
碧い風	2	646,488
創生会	3	411,375
とうほく未来創生	2	306,111
日本共産党	3	378,782
小林 卓	—	0
中野 貴徳	—	82,500
佐々木 一義	—	0
大坂 俊	—	15,728
伊藤 明彦	—	400,000
及川 修一	—	154,120

議長交際費をお知らせします

令和6年度分の議長交際費の支出状況をお知らせします。議長交際費は議長が議会の対外的な活動をするために要する経費です。

支出区分	件数(件)	支出区分	支出区分
お祝い	0	0	
会費	7	37,000	各団体表彰式・祝賀会・激励会等の会費
慶弔	4	53,000	元市議会議員の逝去に際しての香典・生花
その他	5	51,020	他自治体訪問の際の土産等
合計	16	141,020	



開館を祝う仲町虎舞

気仙町にある県指定有形文化財「旧吉田家住宅主屋」の開館記念式典が、5月23日に行われ、議長・副議長および教育民生常任委員が出席しました。

旧吉田家開館式典

旧吉田家住宅主屋は享和2年(1802年)に建設され、仙台藩政下の気仙郡における政治の拠点として利用されてきました。その歴史的価値から県の有形文化財に指定されていましたが、東日本大震災により流出。その後、回収された部材を活用して修復作業が進められました。このような事業は全国的にも例がなく、今後は今泉地区の歴史を伝える場として、また、地域のにぎわいの拠点としての役割が期待されています。

コンプラ研修

その2



第2回コンプライアンス研修「ハラスメントの実態と対策について」を5月21日に崎山美智穂社会保険労務士を講師に行いました。「男は仕事、女は家庭」など無意識の偏見があると、良かれと思っただけの言動も相手を傷つけ、ハラスメントに発展することがあり、それを防ぐには、「これは偏見かも?」と意識すること、「それはハラスメントですよ」と他者に言うこともらえる関係性が大事と学びました。まずは自分の中の「無意識の偏見」を知ることが必要と感じました。

全員協議会

令和7年4月以降に市当局から提出された案件をお知らせします。

4月15日

●#7119(救急安心センター事業) について
◎投票区の変更について(市内25カ所から12カ所に変更)

5月21日

◎立教大学陸前高田サテライトの開所について(陸前高田職業訓練校内)
◎陸前高田市まちづくり総合計画に係る実施計画について

◎今後の財政見直しについて

6月12日

◎郵便局への行政事務の委託について(矢作・広田郵便局でのマイナンバーカードの更新等)

6月27日

◎陸前高田斎苑火葬炉等改修工事に伴う施設の使用制限について

議会と語る会 市建設業協会

市建設業協会(畠山正彦代表理事)と5月8日に意見交換を行いました。

本年度から予算化された脱炭素先行地域に関する事業をはじめ、これまで市県に対して行われてきた要望事項の進捗状況、人口減少、若者の雇用問題、議員報酬など多岐にわたる意見が出されました。



Q 脱炭素先行地域として今後の展開は。

A 今後5年間で太陽光発電施設等の設備投資が予定されています。初期段階では専門性をもつ事業者への発注が限定されるものの、いずれは地元事業者への発注も進められる予定です。

Q 新笹ノ田トンネル整備の見通しは。

A 県は、令和5年3月に国道343号笹ノ田地区技術課題等検討協議会を設置して地質調査等を実施しており、事業化に向けた検討が進められています。市議会としては、今後も当局と協力して要望活動を継続していきます。

傍聴者の声



高田町在住の畠山正彦さんにYouTube(インターネット動画サイト)で一般質問を視聴しての感想を伺いました。

Q 視聴は初めてですか。

A いいえ、傍聴席に入ったことはありませんが、YouTubeは以前も視聴したことがあります。

Q どのように感じましたか。

A 動画の音声聞き取りにくい時もあるので、改善してほしいです。

議員は持ち時間を十分に使って質問していて、よく勉強していると思います。若い議員の声はつきり聞こえて好感が持てました。

Q 議会への意見はありますか。

A 企業や移住者など、外からこのまちに来てくれた人へのサポートが大切だと思います。人口を増やすことが重要と感じるからです。議会と語る会で少子化の話もしましたが、それは陸前高田市建設業協会だけの問題ではありません。雇用の問題や教育ともつながっているので市全体で取り組んでほしいです。



畠山 正彦さん
高田町在住 67才